

令和6年度まちのスマート化に向けた
スマートポール・センサー活用促進補助事業
令和6年度事業報告書

(一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会)

目次

1. 事業の概要
2. 目指す姿への取組内容
3. 設置場所
4. 設置工事
5. 事業計画に対する振り返り
6. 全体スケジュール
7. センサーにより取得するデータ一覧

1. 事業概要

大手町・丸の内・有楽町エリアにカメラを設置しエリアマネジメント活動のDX化を目指す

事業目的	■ 東京都および日本のビジネス中心地であり、皇居と東京駅に挟まれた東京観光の拠点でもある大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、大丸有エリア（右図参照））において、カメラを設置・取得映像データに対してAI解析を行い人流データや警備データ等を取得することにより、日常時および非日常時におけるエリアマネジメント活動のDX化（エリマネDX）に資する取り組みを行い、東京都のスマート化・データドリブン社会の実現に貢献する。	
事業概要	■ 快適な大丸有ライフの提供を可能にする計画推進・検証におけるデータ利活用（まちづくり方針の検討フェーズにおいて定常的に人流データを活用している状況） ■ まちの賑わいの創出（人中心の空間を目指し取り組む丸の内仲通りへの来訪者の増加を目指し、まちの賑わい状況を把握する。丸の内仲通りの人流の増加） ■ イベント時等の警備の効率化（カメラ警備によって、有人警備を補助している状況）	
役割	分類	具体的な役割
	東京都	■ スマートポール・センサーの製作及び設置に係る経費の一部助成 ■ 事業計画書・実績報告書の確認
	事業実施者 (大丸有まちづくり協議会)	■ カメラの設置・活用・維持管理（提案主体）

2. 目指す姿への取組内容

AIカメラを活用して、データ利活用及びまちの賑わいの創出、警備の効率化を行う

スケジュール	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	令和6年度設置工事、 カメラ精度検証	令和7年度検証	令和8年度検証	令和9年度検証	令和10年度検証	
	令和6年度報告	令和7年度報告	令和8年度報告	令和9年度報告	令和10年度報告	
	● AIカメラの設置 ● データ連携にかかるシステム構築 ● 正常機能の確認	● データ利活用方針整理 ● 発信データの整理 ● カメラ警備の検証	● データ取得、発信手法の検討 ● カメラ警備の検証	● データ利活用トライアル ● 情報発信トライアル ● カメラ警備の検証	● データ利活用事例創出 ● 定常的な情報発信 ● カメラ警備の導入	

※検証期間は、整備、検証及び保守運用の令和7年度～令和10年度末まで

目指す姿への取組内容	取組テーマ	本事業終了時に目指す状態	解決内容	活用機器
	快適な大丸有ライフの提供のためのデータ利活用	■ まちづくり方針の検討フェーズにおいて定常的に人流データを活用している状況	■ 誰もが快適に安全・安心に、街の魅力を連続的に体験・楽しむ、交流・出会いを拡大させる ■ アプリ等により1人1人にリーチすることによりQOL 向上、新しい価値観や行動変容をもたらす ■ 来街者が都市を味わい尽くす体験を提供する ■ 上記「快適な大丸有ライフの提供」にあたってデータ利活用による計画推進・検証を実施する	■ AIカメラ
	まちの賑わいの創出	■ 人中心の空間を目指し取り組む丸の内仲通りへの来訪者の増加を目指し、まちの賑わい状況を把握する。丸の内仲通りの人流の増加	■ 人中心の空間を目指し取り組む丸の内仲通りへの来訪者の増加を目指し、まちの賑わい状況を把握する ■ まちの賑わい状況に関する情報に関しては混雑回避に関する情報提供となりうる	
	イベント時等の警備の効率化	■ カメラ警備によって、有人警備を補助している状況	■ 人中心の空間を目指し取り組む丸の内仲通りへの来訪者の増加を目指し、まちの賑わい状況を把握する ■ まちの賑わい状況に関する情報に関しては混雑回避に関する情報提供となりうる	

3. 設置場所

大手町・丸の内・有楽町エリアを南北に貫く歩行者中心の空間にカメラを設置した

- 大丸有エリアを南北に貫く、丸の内仲通り沿いの2街区（新東京ビルおよび新国際ビルの街区）の前面歩道に設置されている既存街路灯に計12台のカメラを設置する。
※ カメラが設置されるのは新東京ビル・新国際ビル側のみであり丸の内二重橋ビル・国際ビル前の歩道には設置しない。
- カメラを設置する街路灯を所有するのは大丸有まちづくり協議会の会員企業である三菱地所であり、場所使用について調整済み。

●カメラを設置するエリア（赤く図示されているエリア）

設置場所



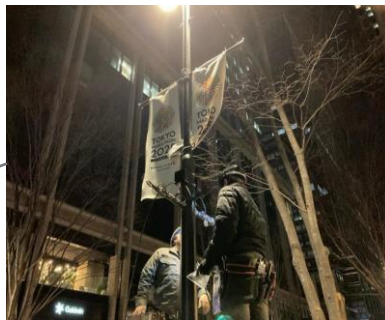
4. 設置工事

人流データを取得するため、丸の内仲通りに、AIカメラ12台を既存の街路灯へ設置完了

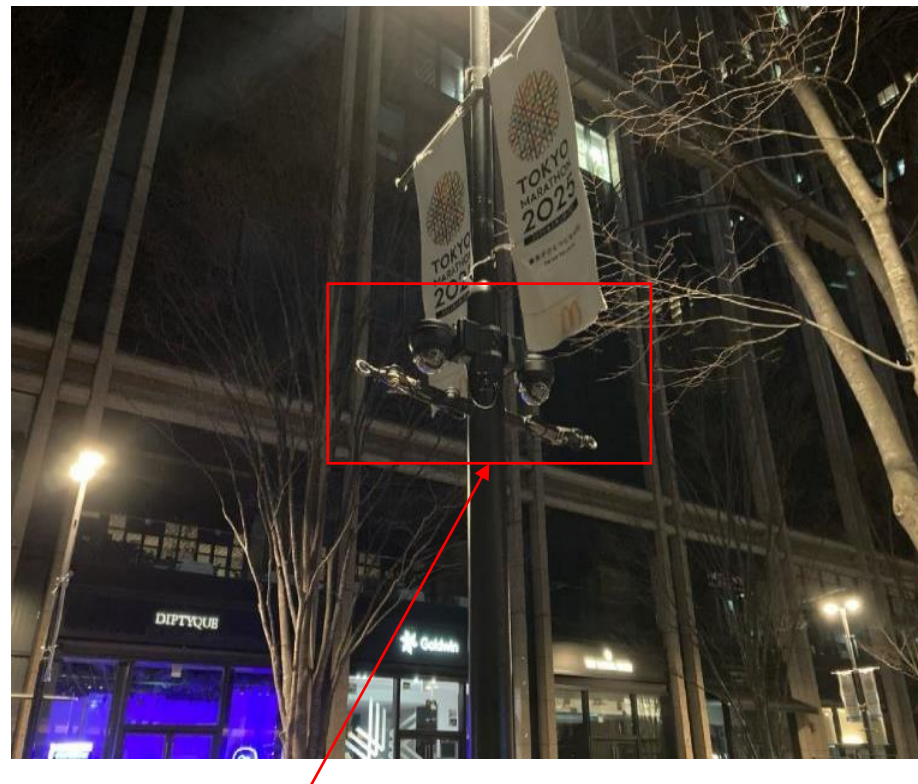
設置工事内容

AIカメラの設置

- (1) HUB盤の設置
- ↓
- (2) HUB盤へのカメラシステム用ケーブルと電源ケーブル配線
- ↓
- (3) HUB盤からAIカメラ間のケーブル配線
- ↓
- (4) HUB盤内に機器設置及び街灯へAIカメラ設置
- ↓
- (5) AIカメラの画角調整



設置機器の概要



■ AIカメラ

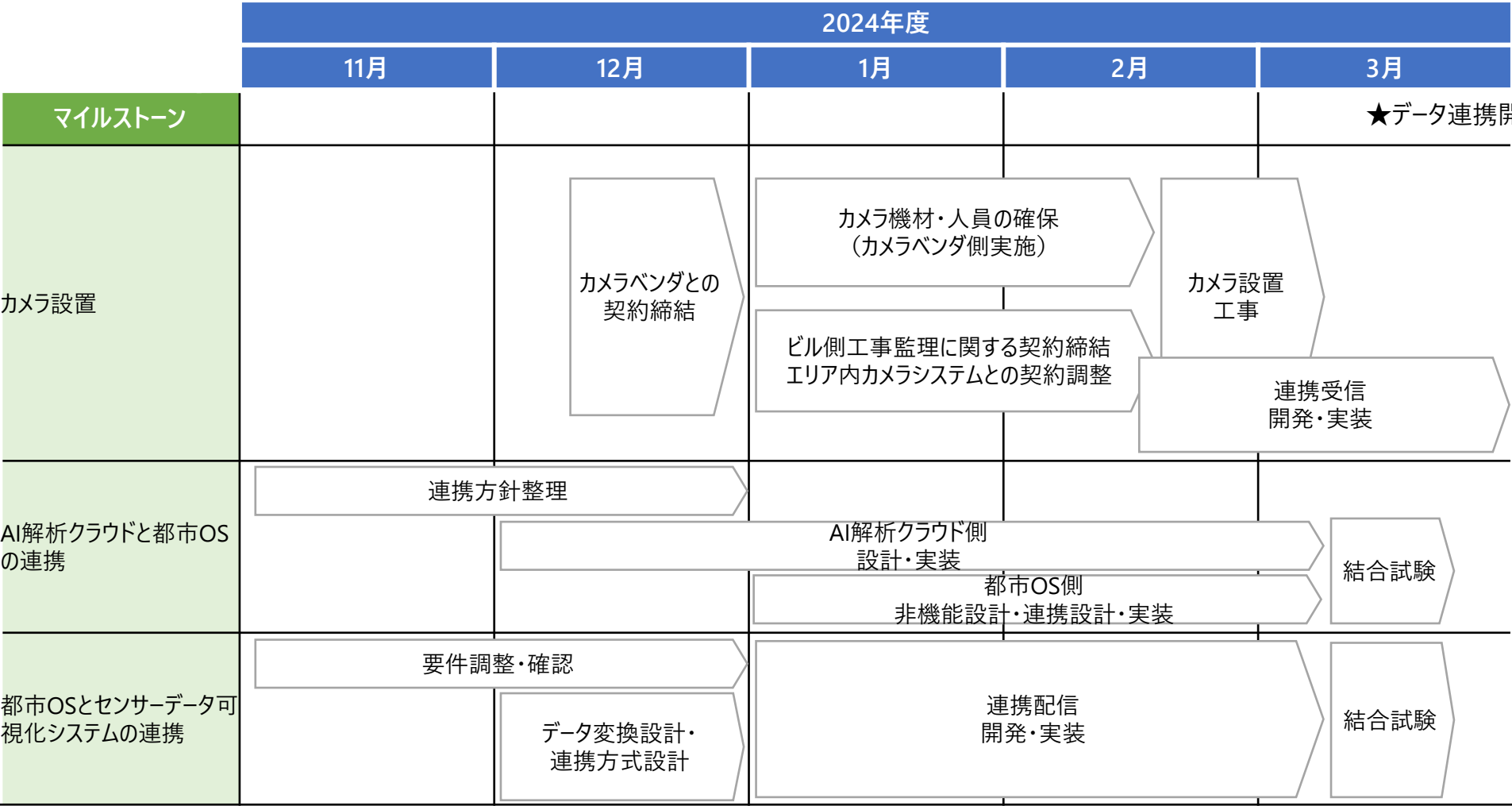
5. 事業計画に対する振り返り

検証の結果、AIカメラでの丸の内仲通りの通行人数及び進行方向の捕捉精度が8割以上であった

目指す姿		快適な大丸有ライフの提供を可能にする計画推進・検証におけるデータ利活用	まちの賑わいの創出	イベント時等の警備の効率化
令和6年度の検証ゴール		■ 丸の内仲通りにカメラ12台を設置し、人流データ（通行人数・進行方向）を測定できる状態		
令和6年度の実績		■ 丸の内仲通りにカメラを12台設置し、人流データ（通行人数・進行方向）を測定できる状態を実現。		
検証内容	検証事項	■ 設置したAIカメラが丸の内仲通りの通行人数及び進行方向のデータを取得できるか		
	定量目標	■ AIカメラでの丸の内仲通りの通行人数及び進行方向の捕捉精度が8割以上		
	検証結果	■ 12台中11台で捕捉精度8割以上を達成、1台で未達成。 ・要因考察：樹木などの障害物により人流がうまくカウントできていないと思料 ・対応方針：画角を調整する等により精度向上を図る		

6. 全体スケジュール

カメラの設置および人流解析結果のデータ連携に関する仕組みを3月中の完了を目指し構築した



7. センサーにより取得するデータ一覧

今回設置した機器では、下記データを取得している

なお、大丸有地区カメラシステム管理運用規程に則って適切にデータを処理している

取得データ		取得データの内容	基準	事業者実施
人流	通行時刻	■ 計測基準線を通過した時刻を計測	秒単位	秒単位
	進入・退出	■ 計測基準線の通過、計測範囲への侵入・退出を計測	4方向	方向なし ※計測基準線の通過のみ計測